

第20回（2023年度） 障がい者雇用支援キャンペーン取り組みと結果

公益社団法人 全国求人情報協会（理事長：鈴木孝二）は、厚生労働省後援のもと、2023年7月1日から2023年9月30日にかけて、障がい者雇用支援キャンペーンを行いました。

【キャンペーン趣旨】

2004年に設立20周年事業としてスタートした障がい者雇用支援キャンペーンは、厚生労働省の後援を受け、例年7月～9月に求人者に障がい者の雇用を促すための取組みを行っています。

障がい者の雇用促進は、企業の社会責任を果たすうえで重要なテーマであります。2023年に法定雇用率達成企業の割合は50.1%を達成しました。また、実雇用率は、2022年6月に2.25%、2023年6月には2.33%と過去最高にのぼったものの、法定雇用率はさらに今後段階的な引き上げが予定されています。

さらに、改正障害者雇用促進法では、事業主の責務として障がい者の職業能力の開発及び向上も含まれることが明確化されました。

障がい者雇用の情勢は、依然として険しい状況にありますが、求人メディアの社会的影響力と広告効果を発揮し、障がい者の雇用支援に貢献するために活動してきた本キャンペーンは、全求協会員が一致団結し、障がい者雇用を求人企業にご一考していただいたり、無料で求人情報を掲載したりといった活動を続けて、着実に雇用支援につながっています。

【キャンペーン概要】

（1）障がい者雇用に係る周知・啓発

- ・求人者に障がい者雇用の理解を促すための、募集・雇用に関するワンポイント解説や、事例などをまとめた啓発ビラ・小冊子(PDF)を会員企業に作成・配布しました。

ビラ PDF : <https://www.zenkyukyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/2023shogaisha-bira.pdf>

冊子 PDF : <https://www.zenkyukyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/2023shogaisha-leaf.pdf>

（2）障がい者求人広告の無料掲載

- ・会員社の求人情報誌・求人サイトに障がい者向け無料求人情報（広告）を掲載しました。
- ・求人企業や求職者向けに無料求人情報（広告）を掲載する会員社名をホームページ上で広報を行い、また各会員のサイトや求人情報（広告）ページへリンクを張り、応募反響の増加に努めました。

【キャンペーン結果】

掲載情報件数は、918件、応募・問い合わせは、654件、採用者数は43名でした。

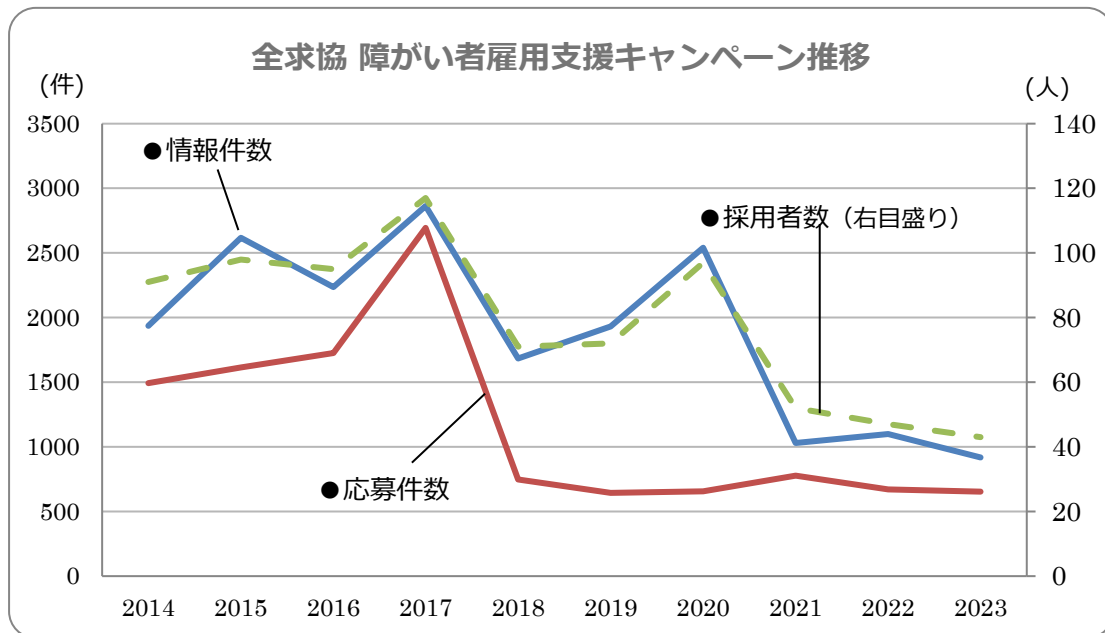
【参加会員】

全国求人情報協会 会員 61 社（キャンペーン時）

※会員社名は、ホームページ内、「情報公開」をご参照ください。

【過去 10 年の成果】

掲載した情報件数は約 3 万 7000 件、のべで応募者数は 2 万 2913 名、採用者数は 1421 名を数えます。



【企業・求職者（障がい者）・会員社からの声】

<企業>

- ・無料求人掲載は、コストの面でも大変有り難いです。求職者の方にとっても掲載求人が多いと選択の幅も広がりますので、大変有意義だと思われま。
- ・思ったより反応があつて驚いた。利用してよかったです。
- ・取り組みのひとつとしてキャンペーンに賛同します。新たな可能性を考えてみるきっかけになりました。

<求職者（障がい者）>

- ・掲載件数が増えたと嬉しいと思います。

<会員社>

- ・キャンペーンについての理解・評価は求人者より頂いています。
- ・引き続き、弊社のできる範囲でクライアントへの周知などご協力させていただきます。
- ・来年もぜひ積極的に案内をして、1 件でも多くのご掲載に結び付けたいと考えています。

お問い合わせ先／公益社団法人全国求人情報協会 業務部・藤本琴子 Tel03-3288-0881 fujimoto@zenkyukyo.or.jp

公益社団法人全国求人情報協会（理事長：鈴木孝二 略称：全求協）は、1985 年 2 月に設立。全国のフリーペーパー・折込求人紙・有料求人情報誌・求人サイトを運営・発行する 59 社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。